

事業所名 弘前大清水学園

支援プログラム

作成日 2026年 2月 24日

法人(事業所) 理念	一人ひとりがかけがえのない存在として生きること。		
支援方針	「一人ひとりがかけがえのない存在である」というキリスト教の人間観に基づき、児童が個人の尊厳を常に尊重されながら、意欲と自発性を持ち活動できるように配慮する。一人ひとりの子どもの成長・発達に向けて丁寧に関わり、個性・特性に応じた適切な支援により子どもの生きる力を応援し、その家族の育てる力を支え地域社会の中で、健やかに育ち生活するための実践を心がける。		
営業時間	8 時 30 分から 17 時 0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
健康・生活	<p>遊びや粗大運動や戸外活動、感覚統合運動遊びを取り入れ、体力や運動能力の向上を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医療と連携をとりながら食事や水分補給、おやつ摂取による補水・摂食の支援を行います。</li> <li>家庭と連携し、家庭での生活状況を把握し、園では活動と休息(午睡)のリズムを整えながら生活全体のリズムを整えられるよう支援します。</li> <li>排泄の自立へ向けた支援(快・不快がわかる、トイレでの排泄に慣れる、定時で誘導し排泄を促す、着衣の上げ下げ、拭き取り等段階を踏まえて支援します。)</li> <li>食事の自立へ向けた支援(食事への興味、咀嚼、嚥下、姿勢保持、食具を使って食事をする等を支援しながら食事を楽しめるよう配慮します。)</li> <li>着脱の自立へ向けた支援(靴の脱ぎ履き、衣類の着脱を踏まえて支援します。)</li> <li>自分の持ち物や身だしなみに意識を持たせ、整容に向けた支援を行います。</li> </ul>		
運動・感覚	<p>粗大運動…自分で使いたいように動かせる体づくりのための運動遊びに取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>手指運動操作…体を支える役割の手の分離運動(支える・運動)手指操作の向上を支援します。</li> <li>感覚運動遊び…身体感覚を養うための運動を取り入れ実施します(前庭感覚：心身の動揺・揺れやバランス感覚、固有感覚：力加減、体のどこに力を入れているのか感じ取る、触覚：情緒の安定や識別)</li> <li>ピシヨントレーニング…作業療法士から助言を受けて目の使い方、目と手の協働動作に繋がると取り組みます。</li> <li>座位保持椅子、補装具など様々な補助用具を活用して姿勢保持や姿勢運動を促します。</li> <li>自力で身体移動や歩行、車椅子による移動など日常生活に必要な移動能力の向上のための支援を行います。</li> </ul>		
認知・行動	<p>一人ひとりの認知特性を理解し、適切に動かせるよう環境設定を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>感覚の活用や認知機能の発達を促すため、感覚の受け入れ幅を広げ識別や認知に繋がると支援します。</li> <li>環境や状況に合わせて行動できるように視覚的な手掛かりを用いて支援を行います。</li> <li>物の機能や属性、大小、数、重さ、空間(前後左右、上下、広狭)、時間(始まりと終わりの伝達など)等の概念の形成を図り、認知や行動の手掛かりとなるよう支援を行います。</li> <li>それぞれの発達段階に応じた5人以下のグループに分けて、課題別活動を行います。</li> </ul>		
言語コミュニケーション	<p>言語理解へ向けた支援を行います。(わかる言葉を着る事への支援：行動と言葉、活動とことばを繋げる。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>食事等での発声に繋がる口腔の咀嚼力を高めたり、呼吸の調整、発声を促す関わり遊びを通して発語を促していきます。</li> <li>挨拶、コミュニケーションのルール(距離、相手に眼差しを向ける)を伝えて支援します。</li> </ul>		
人間関係社会性	<p>発達に合わせて1対1の関係のアタツチツクスント形成から共同注視へ、三項関係を築く、他者と一緒に遊ぶ並行遊びから連合遊び、協同遊びへの発展など遊びを通じた社会性の発達を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>集団参加への支援(ルールを守る、順番、聞く、待つ)、場面に合わせた行動を練習します。対人面でのソーシャルスキルの形成に向けた支援(やりとりや関わり方)。</li> <li>集団遊びや日々の朝の会、帰りの会の集会の参加の仕方を学ぶ。</li> </ul>		
家族支援	<p>育児相談と関わり方の助言(3者の個別指導、面談にて発達課題の共有) 保護者勉強会の実施(就学、ペアレントトレーニング、就学児の体験等) 連絡帳にて相談</p>	移行支援	<p>就園や移行に向けて移行先との調整 (支援内容の共有で柔軟に移行できるよう支援) 就学に向けての支援を実施</p>
地域支援・地域連携	<p>・併行通園児は併行先に訪問し状況と共有している。隣接の弘前大清水水餃子子ども園との交流でインクルージョンに向けている。 ・関係機関との繋がりを深めるため年1回「障害幼児療育研究会」を開催。</p>		
主な行事等	<p>入園式、誕生会、保護者参観日、親子レク、保護者懇談会、社会療育体験活動(買い物体験、電車の乗車体験、教会や消防署見学、園外活動)、食育活動(毎月)、運動会、クリスマス発表会、卒園を祝う会、防災訓練(避難訓練、不審者対応訓練、引き渡し訓練)</p>		

本人支援